

次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業 研究開発課題
事後評価報告書

研究開発課題名	創薬技術シーズの実用化に関するエコシステム構築のための調査研究 「創薬技術シーズ実用化のための産官学エコシステムの実証研究」
代表機関名	大阪商工会議所
研究開発代表者名	吉川 徹
全研究開発期間	平成28年度～平成29年度

【評価結果】

優れている

【評価コメント】

DSANJ が保有するマッチングデータを統計的に解析し、アカデミア由来の創薬技術シーズの「科学性」に裏付けられた「新規性・独創性」が製薬企業の投資判断要件であることを示した。さらに、製薬企業の創薬技術シーズの導入促進に関する仮説を立て、これに基づいて仕組みを構築し、「再現性」、「医薬品応用の検証」と「安全性の検証」の観点から選択した3つのケースに付き検証試験を実行した。一つのケースにおいて、製薬企業の出資金による検証試験と本格導入に向けた検討まで達成でき、当初の目標を超える成果を得た。また、本事業の成果の内、製薬企業の投資を促進するための検証試験を設計する機能については、別途、創薬支援ネットワーク（AMED-iD3）の創薬エコシステムユニットに採択され、実行されることになった。一方、今回検証した3つのモデルケースはいずれも創薬基盤技術に該当するものであり、今後はより難易度の高い創薬シーズに対する検証とエコシステム構築が望まれ、DSANJ エコシステムセンターの運営・実施体制の将来に期待する。

以上